

# 妊婦健康診査公費負担項目(超音波検査)の追加について

大分市では出産にかかる経済的負担の軽減と妊娠中の母体および胎児の健康確保のため、妊婦一般健康診査費用の14回分を公費助成しています。

令和7年度より「超音波検査」についても公費負担の検査項目に追加し、国の示す「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」にある実施時期、回数、内容等を全て実施しています。

## 妊婦に対する健康診査について望ましい基準（平成27年3月31日厚生労働省告示第226号）

### 1. 妊婦健康診査の実施時期及び回数等

- 妊娠初期から妊娠23週まで おおむね4週間に1回
- 妊娠24週から妊娠35週まで おおむね2週間に1回
- 妊娠36週から出産まで おおむね1週間に1回

### 2. 妊婦健康診査の内容等

- 問診、診察等 妊娠週数に応じた問診、診察等により、健康状態を把握する。
- 検査 子宮底長、腹囲、血圧、浮腫、尿（糖及び蛋白）、体重等の検査を行う。なお、初回の妊婦健康診査においては、身長を検査を行う。
- 保健指導 妊娠中の食事や生活上の注意事項等について具体的な指導を行うとともに、妊婦の精神的な健康の保持に留意し、妊娠、出産及び育児に対する不安や悩みの解消を図る。

#### ○医学的検査項目

- ・血液型等の検査（ABO血液型、Rh血液型及び不規則抗体にかかるもの）、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、HIV抗体検査、梅毒結成反応検査、風疹ウイルス抗体検査（妊娠初期に1回）
- ・血糖検査（妊娠初期に1回及び妊娠24週から妊娠35週までの間に1回）
- ・血算検査（妊娠初期に1回、妊娠24週から妊娠35週までの間に1回及び妊娠36週から出産までの間に1回）
- ・HTLV-1抗体検査（妊娠初期から妊娠30週までの間に1回）
- ・子宮頸がん検査（細胞診）（妊娠初期に1回）
- ・超音波検査（妊娠初期から妊娠23週までの間に2回、妊娠24週から妊娠35週までの間に1回及び妊娠36週から出産までの間に1回）
- ・性器クラミジア検査（妊娠初期から妊娠30週までの間に1回）
- ・B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査（妊娠33週から妊娠37週までの間に1回）

# 1か月児健康診査の費用助成について

## 【概要】

産後の産婦健康診査に併せ、児の1か月児健康診査の費用を助成します。出生児の疾病および異常を早期に発見し、その進行を未然に防止し、健康の保持および増進を図るとともに、保護者の育児の悩みや心配事に応じて出生直後から切れ目のない支援を行います。

## 【開始時期】

令和7年4月～

## 【受診の時期】

生後27日を超え、生後6週間に達しない時期

## 【健診内容】

- ・ 身体発育状況
- ・ 栄養状態
- ・ 疾病および異常の有無
- ・ 新生児聴覚検査、先天性代謝異常検査の実施状況の確認
- ・ ビタミンK2投与の実施状況の確認および必要に応じて投与
- ・ 育児上問題となる事項

# 電子母子手帳推進事業について

## 【概要】

妊産婦の窓口手続きの時間短縮と手間の削減を図るため、大分市電子母子手帳アプリ（おーいたっち）を活用し、妊娠・出産・育児にかかる母子保健サービスの手続きをオンライン化しました。

## 【開始時期】

令和7年10月～

## 【オンラインでできる母子保健サービス】

- 妊娠届・妊婦支援給付金1回目申請
- 妊娠8か月アンケート回答
- 出生連絡票・妊婦支援給付金2回目申請
- 産後ケア事業利用申請
- 育児に関する教室の参加申し込み など

